

令和 2 年度豊川市病院事業会計補正予算（第 1 号）



第 6 7 号議案

令和 2 年度豊川市病院事業会計補正予算（第 1 号）

（総 則）

第 1 条 令和 2 年度病院事業会計の補正予算（第 1 号）は、次に定めるところによる。

（収益的支出の補正）

第 2 条 令和 2 年度病院事業会計予算（以下「予算」という。）第 3 条に定めた収益的支出の予定額を次のとおり補正する。

支 出

款 項	既決予定額	補正予定額	計
	千円	千円	千円
1 病院事業費用	16,601,915	30,759	16,632,674
1 1 医業費用	16,117,403	30,759	16,148,162

（資本的収入及び支出の補正）

第 3 条 予算第 4 条本文括弧書を「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 763,810 千円は、過年度分損益勘定留保資金 758,221 千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 5,589 千円で補てんするものとする。」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

収 入

款 項	既決予定額	補正予定額	計
	千円	千円	千円
1 資本的収入	2,033,523	175,000	2,208,523
1 1 企業債	1,130,000	175,000	1,305,000

支 出

款 項	既決予定額	補正予定額	計
	千円	千円	千円
1 資本的支出	2,554,841	417,492	2,972,333
1 建設改良費	1,746,893	417,492	2,164,385

(企業債の補正)

第4条 予算第5条で定めた企業債の変更は、「第1表 企業債補正」による。

(たな卸資産購入限度額の補正)

第5条 予算第9条中「2,620,475千円」を「2,621,586千円」に改める。

(重要な資産の取得の追加)

第6条 予算第10条で定めた重要な資産の取得について、次のとおり追加する。

種 類	名 称	数 量
器 械 備 品	内視鏡手術用支援機器	一 式

令和2年8月27日提出

豊川市長 竹 本 幸 夫



第 1 表 企業債補正

起債の目的	補 正		
	限 度 額	起債の方法	利 率
機 械 器 具 整 備 事 業 費	千円  1,130,000	普 通 貸 借 又 は 証 券 発 行	% 年 4.0 以 内 (た だ し、 利 率 見 直 し 方 式 で 借 り 入 れ る 場 合、 利 率 の 見 直 し を 行 っ た 後 に お い て は、 当 該 利 率 見 直 し 後 の 利 率)
計	1,130,000		

前	補 正			後
償 還 の 方 法	限 度 額	起 債 の 方 法	利 率	償 還 の 方 法
<p>政府資金についてはその融資条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定する条件による。ただし、企業財政の都合により、据置期間及び償還期間を短縮し、又は繰上償還し、若しくは低利債に借換えすることができる。</p>	<p>千円</p> <p>1,305,000</p>	同 前	同 前	同 前
	1,305,000			



令和2年度豊川市病院事業会計補正予算（第1号）に関する説明書

# 令和2年度豊川市病院事業会計補正予算実施計画

## 収 益 的 支 出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 病院事業 費 用			千円 16,601,915	千円 30,759	千円 16,632,674	
	1 医業費用		16,117,403	30,759	16,148,162	
		2 材 料 費	3,601,765	1,010	3,602,775	追加
		3 経 費	2,741,012	29,749	2,770,761	追加

## 資本的収入及び支出

### 収 入

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 資 本 的 収 入			千円 2,033,523	千円 175,000	千円 2,208,523	
	1 企 業 債		1,130,000	175,000	1,305,000	
		1 建設改良費 等の財源に 充てるため の企業債	1,130,000	175,000	1,305,000	追加

### 支 出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 資 本 的 支 出			千円 2,554,841	千円 417,492	千円 2,972,333	
	1 建設改良費		1,746,893	417,492	2,164,385	
		1 資産購入費	1,746,893	417,492	2,164,385	追加

令和2年度豊川市病院事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和2年 4月 1日から令和3年 3月31日まで)

(単位 千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	△ 869,887
減価償却費	1,060,323
長期前払消費税償却	39,584
有形固定資産除却損	27,700
有形固定資産売却損	1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 102,520
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,113
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,226
法定福利費引当金の増減額(△は減少)	4,685
長期前受金戻入額	△ 388,355
受取利息及び受取配当金	△ 8,809
支払利息	21,406
未収金の増減額(△は増加)	△ 203,981
未払金の増減額(△は減少)	△ 218,093
たな卸資産の増減額(△は増加)	500
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△ 3,653
その他	10,176
小計	△ 598,584
利息及び配当金の受取額	8,809
利息の支払額	△ 21,406
業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 611,181
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1,952,876
有形固定資産の売却による収入	10
長期貸付金の貸付による支出	△ 960
長期貸付金の返済による収入	10
寄附金による収入	10
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	403,493
基金の繰入による収入	500,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,050,313
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,305,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 806,988
リース債務の支払による支出	△ 25,207
財務活動によるキャッシュ・フロー	472,805
資金増加額(又は減少額)	△ 1,188,689
資金期首残高	3,252,463
資金期末残高	2,063,774

令和2年度豊川市病院事業予定貸借対照表(当年度分)

(令和3年 3月31日)

(単位 千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1)有形固定資産

イ 土 地		2,512,300	
ロ 建 物	12,704,815		
減価償却累計額	<u>△ 4,185,419</u>	8,519,396	
ハ 構 築 物	657,585		
減価償却累計額	<u>△ 333,780</u>	323,805	
ニ 器 械 備 品	8,880,688		
減価償却累計額	<u>△ 5,636,322</u>	3,244,366	
ホ 車 両 及 び 運 搬 具	59,417		
減価償却累計額	<u>△ 55,170</u>	4,247	
ヘ リ ー ス 資 産	726,351		
減価償却累計額	<u>△ 103,442</u>	<u>622,909</u>	
有形固定資産合計			15,227,023

(2)無形固定資産

イ 電 話 加 入 権		8,199	
ロ そ の 他 無形固定資産	1,047,105		
減価償却累計額	<u>△ 1,651</u>	<u>1,045,454</u>	
無形固定資産合計			1,053,653

(3)投資その他の資産

イ 投 資 有 価 証 券		300,000	
ロ 長 期 貸 付 金	24,460		
貸 倒 引 当 金	<u>△ 22,080</u>	2,380	

ハ 基 金	2,000,000	
ニ 長期前払消費税	469,488	
ホ 破産更生債権等	33,337	
貸倒引当金	<u>△ 33,337</u>	<u>0</u>
投資その他の資産合計		<u>2,771,868</u>
固定資産合計		19,052,544
2 流動資産		
(1) 現金預金		2,063,774
(2) 未収金	2,458,512	
貸倒引当金	<u>△ 24,732</u>	2,433,780
(3) 貯蔵品		<u>97,751</u>
流動資産合計		<u>4,595,305</u>
資産合計		<u><u>23,647,849</u></u>

負債の部

3 固定負債		
(1) 企業債		
イ 建設改良費等の財源 に充てるための企業債	<u>12,796,957</u>	
企業債合計		12,796,957
(2) リース債務		592,517
(3) 引当金		
イ 退職給付引当金	2,731,048	
ロ 修繕引当金	<u>3,187</u>	
引当金合計		<u>2,734,235</u>
固定負債合計		16,123,709

#### 4 流 動 負 債

##### (1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源  
に充てるための企業債

715,231

企 業 債 合 計

715,231

##### (2) リ ー ス 債 務

26,280

##### (3) 未 払 金

1,803,209

##### (4) 引 当 金

イ 賞 与 引 当 金

450,212

ロ 法定福利費引当金

80,139

引 当 金 合 計

530,351

##### (5) その他流動負債

94,994

流 動 負 債 合 計

3,170,065

#### 5 繰 延 収 益

##### (1) 長 期 前 受 金

3,195,367

収 益 化 累 計 額

△ 2,823,266

繰 延 収 益 合 計

372,101

負 債 合 計

19,665,875

#### 資 本 の 部

#### 6 資 本 金

6,487,493

#### 7 剰 余 金

##### (1) 資 本 剰 余 金

イ 補 助 金

476,000

ロ 負 担 金

306,776

ハ 寄 附 金

20

資 本 剰 余 金 合 計

782,796

(2) 利益剰余金

イ当年度未処理欠損金	<u>3,288,315</u>	
利益剰余金合計		<u>△ 3,288,315</u>
剰余金合計		<u>△ 2,505,519</u>
資本金合計		<u>3,981,974</u>
負債資本合計		<u>23,647,849</u>

## 注記

### I. 重要な会計方針

#### 1 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・貯蔵品 先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

##### (2) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的債券 償却原価法（定額法）

#### 2 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産（リース資産を除く）

- ・減価償却の方法 定額法
- ・主な耐用年数

建物	15～47年
構築物	10～15年
器械備品	4～15年
車両及び運搬具	4～6年

##### (2) 無形固定資産

- ・減価償却の方法 定額法
- ・主な耐用年数 其他無形固定資産 5年

##### (3) リース資産

- ・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

#### 3 引当金の計上方法

##### (1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額のうち、「退職手当に係る負担金の取扱いに関する確認書」に基づき、他会計が負担する部分を除く額を計上している。

## (2) 賞与引当金

職員の期末手当・勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

## (3) 法定福利費引当金

職員の期末手当・勤勉手当の支給に係る法定福利費の支払に備えるため、当事業年度末における支払見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

## (4) 貸倒引当金

債権の不納欠損等による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

## 4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理している。ただし、現病院建設事業に係る控除対象外消費税等については、長期前払消費税勘定に計上し、20年間で均等償却を行っている。

## II. 予定キャッシュ・フロー計算書等関連

### 1 重要な非資金取引の内容

当事業年度に新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産及び負債の額は、それぞれ 45,678 千円、49,506 千円である。

## III. 予定貸借対照表等関連

### 1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は、6,756,094 千円である。

## 2 引当金の取り崩し

### (1) 退職給付引当金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、退職手当として 426,154 千円を支給するため、退職給付引当金 426,154 千円を取り崩すこととする。

### (2) 賞与引当金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、6月の期末手当及び勤勉手当として 677,925 千円を支給するため、賞与引当金 426,986 千円を取り崩すこととする。

### (3) 法定福利費引当金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、6月の期末手当及び勤勉手当の支給に係る法定福利費として 120,678 千円を支払うため、法定福利費引当金 75,454 千円を取り崩すこととする。

### (4) 貸倒引当金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、長期貸付金 11,400 千円の返済を免除するため、貸倒引当金 11,400 千円を取り崩すこととする。また、当事業年度において、破産更生債権等 4,244 千円を不納欠損とするため、貸倒引当金 4,244 千円を取り崩すこととする。

## 3 基金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、総合医療情報システム更新に係る建設改良費として 539,429 千円を支払うため、基金 500,000 千円を取り崩すこととする。

## 4 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

## IV. セグメント情報の開示

### 1 報告セグメントの概要

当病院事業会計は、病院事業セグメントの単一セグメントであるため、記載を省略している。

令和2年度豊川市病院事業会計補正予算説明書

収 益 の 支 出

款	項	目	節	既決予定額 千円	補正予定額 千円	計 千円	説 明
1 病院事業 費 用	1 医業費用			16,601,915	30,759	16,632,674	
			2 材 料 費	3,601,765	1,010	3,602,775	
			1 薬 品 費	2,199,000	1,010	2,200,010	追加
			3 経 費	2,741,012	29,749	2,770,761	
			5 消耗品費	220,000	18,315	238,315	追加
			11 修繕費	94,400	6,001	100,401	追加
			13 賃借料	236,671	1,765	238,436	追加
			15 委託料	1,678,373	3,668	1,682,041	追加
			合 計				16,601,915

資本的収入及び支出

収 入

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	説 明
1 資 本 的 収 入	1 企 業 債			千円	千円	千円	
				2,033,523	175,000	2,208,523	
			1 建設改良費 等の財源に 充てるため の企業債	1,130,000	175,000	1,305,000	
			1 建設改良費 等の財源に 充てるため の企業債	1,130,000	175,000	1,305,000	追加
合 計				2,033,523	175,000	2,208,523	

支 出

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	説 明
1 資 本 的 支 出	1 建設改良費			千円	千円	千円	
				2,554,841	417,492	2,972,333	
			1 資産購入費	1,746,893	417,492	2,164,385	
			1 委 託 料	352,404	55,143	407,547	追加
			2 器 械 備 品 購 入 費	1,368,327	362,349	1,730,676	追加
合 計				2,554,841	417,492	2,972,333	

